

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：石渡 智秋 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：岩田 利枝 主 査 名：古賀 貴士
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	室内音響学に関する知見や技術を広く様々な空間に応用して社会貢献目指す ・音環境啓発に関する活動方針および活動企画の決定 ・各 WG の活動のサポート	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	石渡 智秋(主査、永田音響設計)、青木 亜美(幹事、日建設計)、服部 暢彦(幹事、永田音響設計)、李 孝珍(東京大学)、池上 雅之(大林組)、上野佳奈子(明治大学)、大久保洋幸(NHK)、川井 敬二(熊本大学)、佐久間哲哉(東京大学)、佐藤 史明(千葉工業大学)、清水 寧(Sound/Form Design Lab)、志村留美子(日本設計)、羽入 敏樹(日本大学)、宮崎 秀生(ヤマハ)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インパルス応答予測・計測 WG：明瞭度指標 STI に関するベンチマーク問題検討</li> <li>・スピーチプライバシーWG：広く普及する事を視野に、AIJES 化、出版等の検討を行う。</li> <li>・子どものための音環境 WG：子どものための空間に必要な音環境性能の把握。</li> </ul>	
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：インパルス応答予測・計測 WG <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 音環境向上について広く社会に啓発を促すことを目的として行う活動方針について、活発な議論を行うことができ、活動方針を決定した。次年度の活動企画案の検討も進み、中間年度として順調な達成度である。 2. 各 WG からの報告について、委員会において活発な意見交換等を行い、各 WG に対するサポート活動として、十分な達成度を上げている。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

## 2017 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インパルス応答予測・計測 WG においては、STI 値算出方法について検討が行われ、ベンチマーク問題を提供する事に対し成果を出している。</li> <li>・スピーチプライバシーWG においては、AIJES 規格申請に向けて、コア部分の作成が進んでおり、小委員会において議論等ができる状態にまで成果を出している。</li> <li>・子どものための WG においては、ドイツ・ミュンヘンの保育所等の視察、現状ニーズの把握等、活発な成果を出している。</li> <li>・小委員会においては、広く建築家、学生、オーナー、行政等にむけての音環境向上の意識啓発を目的とした、活動方針を種々検討しており、次年度の実行に向けて、用意が進んでいる。</li> </ul>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。